

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

国語 科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（ 1～4 組：山本愛 ）（ 5～7 組：沼田 ）

使用教科書：（ 現代の国語 大修館 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の習得。

【思考力、判断力、表現力等】本文における情報の関係に注意し、主旨や論理展開を的確に捉える。

【学びに向かう力、人間性等】複数の文章を比較して読み、熱意を持って自分の課題に取り組む。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
常用漢字の読みに慣れ、主要な常用漢字を正しく文や文章で活用し、言語感覚に磨きをかける。	評論文の読解を通して、文章を構造的に読めるようになり、論理的思考力を駆使して意見文を書く。	自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、工夫しながら学習課題に取り組むことにより、今後の学習活動に生かす。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
A 単元 水の東西 【知識及び技能】 ・ 叙述を的確にとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・ 教科書 「現代の国語」大修館書店 ・ 指導項目 「水の東西」 対比の文章の読解 ・ 一人1台端末の活用 等	○			【知識・技能】 ・ 比喩、例示、言い換えなどの修辭や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。	○	○	○	6
B 単元 伝わるように話す 【知識及び技能】 ・ 話し言葉の特徴を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 聞き手が理解しやすい説明のしかたを考え、過不足なく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・ 教科書 「現代の国語」大修館書店 ・ 指導項目 「伝わるように話す」 話し言葉の整理、理解 ・ 一人1台端末の活用 等	○			【知識・技能】 ・ 話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 「話すこと」において、話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 口頭での説明を通して、話し言葉の特徴をふまえて、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	7
定期考査		○	○			○	○		1
1 学期 C 単元 企画書『となりのトトロ』 【知識及び技能】 ・ 提案を検討する際に必要な要素を押さえる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 効果的な表現や資料の提示のしかたを工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・ 教科書 「現代の国語」大修館書店 ・ 指導項目 「企画書『となりのトトロ』」 効果的な文章の組み立て方、話し方 ・ 一人1台端末の活用 等	○			【知識・技能】 ・ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や言葉の構造や特色、用法および表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 「書くこと」において、自分の考えやことがらが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 積極的に、課題に沿った「提案に必要な要素」を挙げようとしている。	○	○	○	6
D 動的平衡としての生物多様性 【知識及び技能】 ・ 構成や展開を意識して文章を書く。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 根拠を明確にして、自分の意見を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・ 教科書 「現代の国語」大修館書店 ・ 指導項目 「動的平衡としての生物多様性」 演繹法と帰納法を活用した評論の構成理解 ・ 一人1台端末の活用 等	○			【知識及び技能】 ・ 文例および自分の作文において主張と根拠を指摘できている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・ 「書くこと」において、論理展開を工夫し、読み手が理解しやすい文章が書けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 意見文の相互評価および単元の総括をとおして、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	○	○	○	8
定期考査		○	○			○	○		1

2 学 期	E 単元 「美しさの発見」について 【知識及び技能】 ・表現の特色をふまえ、適切な言葉遣いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・教科書 「現代の国語」大修館書店 ・指導項目 「『美しさの発見』について」 複数の文章の読解 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	○	○	○	8
	F 単元 空気を読む 【知識及び技能】 情報の妥当性や信頼性を正しく吟味する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・教科書 「現代の国語」大修館書店 ・指導項目 「空気を読む」 情報リテラシーと文章読解の育成 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	○	○	○	6
	定期考査		○	○		○	○		1
	G 単元 「安くおいしい国」の限界 【知識及び技能】 ・資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・設問に関連している図表を正しく読み取り、抽出する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・教科書 「現代の国語」大修館書店 ・指導項目 『安くおいしい国』の限界」 資料を活かした評論文の読解 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	8
	H 単元 インターネット時代の音楽産業 【知識及び技能】 ・資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・設問に関連しているグラフを正しく読み取り、抽出する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・教科書 「現代の国語」大修館書店 ・指導項目 「インターネット時代の音楽産業」 グラフの読解 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・本文における主張と根拠の資料との関係について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、本文の構成に注意して読み、資料援用の意図を解釈できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・単元のねらいを理解し、主体的に学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	8
定期考査		○	○		○	○		1	
3 学 期	I 単元 贅沢を取り戻す、白 【知識及び技能】 ・文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・根拠を明確にして、自分の意見を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学ぶ力や社会生活の充実を図る態度を涵養する。	・教科書 「現代の国語」大修館書店 ・指導項目 「贅沢を取り戻す」「白」 これまでの学習を活用し、筆者の意見を基に意見を書く ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。	○	○		8
	定期考査		○	○		○	○	1 合計 70	

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

地歴 科目 地理総合

教科：地歴 科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1～7組：宇多川 智史）

使用教科書：（「高等学校新地理総合」 帝国書院）

教科 地歴 の目標：

【知識及び技能】現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解する。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養っている

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・内容について理解するとともに、諸資料を活用し、情報を読み取ったりまとめたりすることができる。	・内容について多面的・多角的に考察し、表現することができる。	・よりよい社会の実現に向け、内容に関する課題を主体的に追究している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 地図と地理情報システム ・地図や地理情報システムの役割や有用性について理解する。 ・地図や地理情報システムについて、目的や用途、活用の仕方等を多面的・多角的に考察し表現する。	・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類	【知識・技能】 地図や地理情報システムの役割や有用性について理解する。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
	B 結びつきを深める現代世界 ・日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきについて理解する。 ・現代世界の地域構成について、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・現代世界の地域構成について、課題を主体的に追究、解決する態度を養っている。	・現代世界の国家と領域 ・グローバル化する世界	【知識・技能】 日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の地域構成について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	C 生活文化の多様性と国際理解 ・世界の人々の生活文化を基に地理的環境の変化や変容、国際理解を図ることの重要性について理解する。 ・世界の人々の生活文化について、多様性や変容の要因を多面的・多角的に考察し、表現する。	・世界の地形と人々の生活 ・世界の気候と人々の生活 ・世界の言語、宗教と人々の生活 ①中央アジア、西アジア、北アフリカ ②インド	【知識・技能】 世界の人々の生活文化の多様性や変容について理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

地歴 科目 歴史総合

教科：地歴

科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1～7組：山本 治輝）

使用教科書：（「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」 山川出版社）

教科 地歴

の目標：

【知識及び技能】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、諸資料を活用し、世界と日本の相互に着目し、理解する。

【思考力、判断力、表現力等】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、多面的・多角的に考察し、議論する力を養っている。

【学びに向かう力、人間性等】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を追究する態度を養って

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、諸資料を活用し、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを事象同士の関連性に着目して、多面的・多角的に考察し、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養っている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養い、自国や他国に対する理解を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	A 結びつく世界と日本の開国 歴史的な見方や考え方を活用しながら、18世紀のアジア諸国における特徴や、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、18世紀の世界について理解する。	・18世紀の東アジアにおける社会と経済 ・貿易が結んだ世界と日本 ・産業革命 ・中国の開港と日本の開国	【知識・技能】 アジア諸国と欧米諸国との関係を理解し、工業化と世界市場の形成を理解している。 【思考・判断・表現】 アジア諸国と欧米諸国との関係を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 工業化と世界市場の形成について、課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	B 国民国家と明治維新 18世紀以降の欧米の市民革命や、日本の明治維新や憲法制定などを基に、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。	・市民革命 ・国民国家とナショナリズム	【知識・技能】 国民国家と立憲体制について理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家と立憲体制について、課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査	定期考査		○	○		1
	C 国民国家と明治維新 18世紀以降の欧米の市民革命や、日本の明治維新や憲法制定などを基に、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。	・明治維新 ・日本の産業革命 ・帝国主義 ・変容する東アジアの国際秩序 ・日露戦争と東アジアの変動	【知識・技能】 国民国家と立憲体制について理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家と立憲体制について、課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7
	D 近代化と私たち 18世紀後半～19世紀の世界各国の人口動態や交通などを基に、産業革命が世界各国に及ぼした影響について、多面的・多角的に考察し表現することを通して、貿易と産業、人口などの関連性について理解する。	・交通と貿易 ・産業と人口 ・権利意識と政治参加、国民の義務 ・学校教育 ・労働と家族 ・移民	【知識・技能】 18世紀後半～19世紀の世界各国の人口や交通について理解している。 【思考・判断・表現】 産業革命が19世紀の世界各国に及ぼした影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業革命が19世紀の世界各国に及ぼした影響について、課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

数学 科目 数学 I

教科： 数学

科目： 数学 I

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： 1,3,5組： 神山 (2,4組： 野原) (6,7組： 田草川)

使用教科書： (高等学校「数学 I」数研出版)

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】数学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学的な法則や理論背景などを調べようとする態度を身に付ける。

科目 数学 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したたり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、簡潔明瞭的確な表現する力を身に付ける。	数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度と問題解決について評価・改善しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	第1章 【数と式】 A 式と計算 【知識及び技能】 2次と3次の乗法公式及び因数分解の公式を使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 式を多面的に捉えたり、適切に変形したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 式を適切な形に変えようとしている。	・教科書 高等学校「数学 I」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 整式のまとめ方について、展開と因数分解の定義 次数の下げ方とその利点など	【知識・技能】 授業時間内考査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内考査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内考査による。	○	○	○	9
	第1章 【数と式】 B 実数 【知識及び技能】 実数で簡単な無理数の四則計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 式を多面的に捉えたり、適切に変形したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 数の拡張を知ろうとしている。	・教科書 高等学校「数学 I」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 有理数、絶対値などの定義の確認 実数への拡張とその利点と必要性 循環小数の表し方 分母の有理化など、実数の変形	【知識・技能】 授業時間内考査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内考査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内考査による。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	第1章 【数と式】 C 1次不等式 【知識及び技能】 不等式の性質、1次不等式の解を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 1次不等式を解く方法を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 1次不等式を問題解決に活用しようとする。	・教科書 高等学校「数学 I」数研出版 ・1人1台端末の活用 ・指導項目 1次不等式の解き方 連立不等式の解き方 絶対値を含む方程式・不等式の解き方	【知識・技能】 授業時間内考査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内考査による。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業時間内考査による。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

理科 科目 化学基礎

教科：理科

科目：化学基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（ 1 組～3 組 田中 ）（ 4 組～5 組 青柳 ）（ 6 組～7 組 三浦 ）

使用教科書：（ 「高等学校化学基礎」 啓林館 ）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】科学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】科学的調査方法を身に付ける。

科目 化学基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質や物質現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けてい	物質や物質が変化する現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質や物質が変化する現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 第1章 物質の構成 1 節物質の成分と構成元素探究 ① 物質の成分 ② 物質の構成元素 を理解させる	□教科書と副教材を使用した講義・実験など。 ・ 空気の成分 ・ 物質の分離 ・ 元素 ・ 原子の構造	【知識・技能】 考查及び授業時間内小テストによる。 【思考・判断・表現】 考查及び授業時間内小テストによる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	11
	B 2 節原子の構造と元素の周期表 ① 原子の構造 ② 元素の相互関係 を理解させる	□教科書と副教材を使用した講義・実験など。 ・ 原子の構造 ・ 殻について ・ 結合論総論	【知識・技能】 考查及び授業時間内小テストによる。 【思考・判断・表現】 考查及び授業時間内小テストによる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	
	定期考查			○	○		1
	C 3 節物質と化学結合 ① イオンとイオン結合 ② 分子と共有結合 を理解させる	□教科書と副教材を使用した講義・実験など。 ・ イオンの生成 ・ イオン結合 ・ 共有結合 ・ 分子式・組成式・構造式	【知識・技能】 考查及び授業時間内小テストによる。 【思考・判断・表現】 考查及び授業時間内小テストによる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	11
	D ③ 金属と金属結合 ④ 結晶の比較 を理解させる	□教科書と副教材を使用した講義・実験など。 ・ 金属結合 ・ 金属の性質 ・ 結合による結晶の特徴	【知識・技能】 考查及び授業時間内小テストによる。 【思考・判断・表現】 考查及び授業時間内小テストによる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	
定期考查			○	○		1	
2 学期	E 第2章物質の変化 1 節物質質量と化学反応式 ① 原子量・分子量と式量 ② 物質質量 を理解させる	□教科書と副教材を使用した講義・実験など。 ・ 原子の相対的質量 ・ 原子量 ・ 分子量・式量 ・ 物質質量の概念 ・ 物質質量・質量・気体の体積の変換	【知識・技能】 考查及び授業時間内小テストによる。 【思考・判断・表現】 考查及び授業時間内小テストによる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	12
	定期考查			○	○		
	F ③ 溶解と濃度 ④ 化学反応式 ⑤ 化学反応と物質質量 を理解させる	・ 質量パーセント濃度 ・ モル濃度 ・ 質量%濃度とモル濃度の変換 ・ 化学反応式を書く ・ 反応式と物質質量の関係	【知識・技能】 考查及び授業時間内小テストによる。 【思考・判断・表現】 考查及び授業時間内小テストによる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	12
定期考查			○	○		1	
3 学期	G 2 節酸と塩基の反応 ① 酸と塩基 ② 水素イオン濃度 ③ 中和と塩 ④ 中和滴定 を理解させる	□教科書と副教材を使用した講義・実験など。 ・ 酸塩基の定義 ・ 酸塩基の強弱と価数 ・ 水素イオン濃度 ・ 中和反応 ・ 中和滴定	【知識・技能】 考查及び授業時間内小テストによる。 【思考・判断・表現】 考查及び授業時間内小テストによる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業態度・実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	19
	期末考查			○	○		
				○	○		合計 70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

理科 科目 生物基礎

教科： 理科

科目： 生物基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： 1～2組：三浦 ）（ 3組～7組：岡本

使用教科書：（ 「生物基礎」 数研出版 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 科学リテラシーを身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的思考方法を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 科学的調査方法を身に付ける。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 第1章 生物の特徴 【知識及び技能】 生物の多様性と共通性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の共通性と多様性は、生物の進化の結果であることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 顕微鏡観察の基本操作、マイクロメーターによる測定について理解を深める。	□教科書、および補助教材を利用した講義形式 生物の共通性と多様性。 生命活動にはエネルギーが必要であること。 細胞の生命活動のエネルギーはATPの形で供給されること。 呼吸や光合成の過程でATPが合成されること。 酵素の特徴。酵素によって生体内で必要な化学反応が進行すること。 □実験・実習 顕微鏡観察及びマイクロメーターの使用	【知識・技能】 授業時間内考査による。 【思考・判断・表現】 授業時間内考査による。 【学びに向かう力、人間性等】 実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
	B 第2章 遺伝子とのはたらき 【知識及び技能】 遺伝情報を含む物質-DNA、DNAの構造について理解する。 遺伝情報の複製と分配について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝情報の発現について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 コドン表を用いて遺伝暗号を解く。	□教科書、および補助教材を利用した講義形式 遺伝情報を含む物質-DNA、DNAの構造。遺伝情報の複製、遺伝情報の分配 遺伝情報とタンパク質、タンパク質の合成、分化した細胞の遺伝子発現、遺伝情報と遺伝子、ゲノム □実習 コドン表を用いて遺伝暗号を解いてみる	【知識・技能】 考査による。 【思考・判断・表現】 考査による。 【学びに向かう力、人間性等】 実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1	
2 学期	C 第3章 ヒトの体内環境の維持 【知識及び技能】 体内での情報伝達と調節、体内環境の維持のしくみ、及び免疫について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 免疫のシステムについて理解し医療について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 インターネットを利用した検索学習を行う。	□教科書、および補助教材を利用した講義形式 ホルモンと自律神経のはたらき 自然免疫、適応免疫 □実習 インターネットを利用した検索学習 免疫と病気	【知識・技能】 考査による。 【思考・判断・表現】 考査による。 【学びに向かう力、人間性等】 実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	D 第4章 生物の多様性と生態系 生態系と生物の多様性 【知識及び技能】 世界各地には、多様なバイオームが成立していることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 遷移の結果として森林のほかに草原や荒原にもなることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 インターネットを利用した検索学習を行う。	□教科書、および補助教材を利用した講義形式 植生、植生の遷移 植生の分布とバイオーム バイオームの成立 □実習 インターネットを利用した検索学習 世界のバイオーム、日本のバイオーム	【知識・技能】 考査による。 【思考・判断・表現】 考査による。 【学びに向かう力、人間性等】 実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	12
定期考査			○	○	○	1	
3 学期	E 生態系のバランスと保全 【知識及び技能】 生態系の成りたちを理解する。 生態系がもつ復元力について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人間活動が生態系に及ぼす影響について及び、生態系の保全の重要性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 インターネットを利用した検索学習を行う。	□教科書、および補助教材を利用した講義形式 生態系の成りたち、生態系と種多様性、生物どうしのつながり生態系のバランス、人間の活動と生態系、生態系の保全 □実習 インターネットを利用した検索学習 生態系の保全	【知識・技能】 考査による。 【思考・判断・表現】 考査による。 【学びに向かう力、人間性等】 実験・実習におけるレポートによる。	○	○	○	19
	定期考査			○	○	○	1 合計 70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（1～7組：鈴木・前田・柳澤・鎌田・砂山）

使用教科書：（「現代高等保健体育」）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】運動特性に応じた技能など及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養っている。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することが出来るようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付ける。	運動における競争や共同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しもうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
A バレーボール（男女） 基本的な個人技能やルールを習得し 連係プレーや簡易ゲームができる。	・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス ・サーブ ・パスゲーム ・トス&スパイク ・簡易ゲーム	【知識・技能】 役割に応じたボール操作や状況に応じたボール操作をゲームで行うことができた。 【思考・判断・表現】 よりよいサーブやプレーができ、安全に配慮し自分やチームの活動を振り返るとともに仲間に提案することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に留意し、フェアプレーを大切にしようとしゲームができた。	○	○	○	8
B サッカー（男） 基本的な個人技能及び連係プレーを 習得し、また基本的なルールを理解 しゲームができる。	・ボールキャリアー ・パス・トラップ ・ドリブル ・シュート ・1対1, 2対1, 3対2, 3対3… ・簡易ゲーム	【知識・技能】 安定したボール操作や状況判断、空間を作る、使うなどの動きをゲームなどで行うことができる。 【思考・判断・表現】 チームでの作戦を、話し合い、考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に留意し、フェアプレーを大切にしようとしゲームができた。	○	○	○	8
C アルティメット（女） 基本的な個人技能とルールを身に付 けゲームができる。	・キャッチ ・バックハンドスロー、フォアハンドスロー ・カーブスロー、アップサイドダウンスロー ・パス、ミート、キャッチアップ ・ゲーム	【知識・技能】 安定したディスク操作や状況判断、空間を作る、使うなどの動きをゲームなどで行うことができる。 【思考・判断・表現】 チームでの作戦を、話し合い、考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に留意し、フェアプレーを大切にしようとしゲームができた。	○	○	○	8
D 柔道 受け身を身に付け安全に練習がで きる。	・礼法 ・足さばき ・受け身（前・横・後ろ） ・前回り受け身 ・支え釣り込み足 ・出足払い	【知識・技能】 武道を学ぶことの意義、柔道の礼法や技の名称とそれらを身に付けるポイントを理解することができた。 【思考・判断・表現】 練習などから練習の成果や改善すべきポイントとその理由を伝え、課題解決に有効な練習を選択、実施できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の課題に応じた練習方法を選択するなど、柔道の学習に主体的に取り組む伝統的な行動の仕方を大切にしようとし積極的に取り組むことができた。	○	○	○	
E 剣道 竹刀・防具の扱い、基本動作に習熟 し安全に練習ができる。	・防具のつけ方 ・構え ・素振り 面うち、胴打ち、籠手打ち ・足さばき	【知識・技能】 武道を学ぶことの意義、柔道の礼法や技の名称とそれらを身に付けるポイントを理解することができた。 【思考・判断・表現】 練習などから練習の成果や改善すべきポイントとその理由を伝え、課題解決に有効な練習を選択、実施できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の課題に応じた練習方法を選択するなど、柔道の学習に主体的に取り組む伝統的な行動の仕方を大切にしようとし積極的に取り組むことができた。	○	○	○	9
F ダンス 基本の動作パターンに習熟する。	・基本姿勢 ・各身体パーツの動かし方 （頭・首・胸・腰・肩・腕・手・ 腿・脛・足） ・各身体パーツのコンビネーション	【知識・技能】 リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ることができた。 【思考・判断・表現】 学習した知識や技能を表現や作品創作に適用したり、応用したりすることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に取り組む、役割を積極的に引き受け、グループ活動に貢献しようとしたことができた。	○	○	○	
G 水泳 クロール、平泳ぎのキック、スト ローク、コンビネーションを再確認 する。	・水中歩行 ・バタ足 ・クロールのストローク ・平泳ぎのキック ・平泳ぎのストローク ・コンビネーション	【知識・技能】 各種泳法を理解し、手足バランスを保ち長く又は早く泳ぐことができた。 【思考・判断・表現】 選択した泳法に浮いて、動きを分析し、良い点や修正点を指摘できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に配慮し自他の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしたことができた。	○	○	○	8
H 体ほぐし ・オリエンテーション ・体力を総合的に高める運動および 今後のスポーツの基礎となる走・跳・ 投の各運動を行う。	・ストレッチング ・スタートダッシュ ・各種跳躍運動 ・ハンドボール投げ ・体重を使った筋力トレーニング （腕立て伏せ等）	【知識・技能】 各種の動作を行い、体の調子に気付いたり関わりがあったりできた。 【思考・判断・表現】 各種の動作で自他の危険を回避し、安全に留意する活動方法を提案できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 一人一人の違いに応じた動きを大切に、主体的に取り組もうとした。	○	○	○	8

2 学 期	I バスケットボール 基本的な個人技能やルールを習得し 連係プレーやゲームができる。	・ドリブル ・パス各種 (1対1、三角パス、ランニングパス) ・シュート(セット・レイアップ) ・3対3 ・ゲーム	【知識・技能】 安定したボール操作や状況判断、空間を作る、使うなどの動きをゲームなどで行うことができる。 【思考・判断・表現】 チームでの作戦を、話し合い、考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に留意し、フェアプレーを大切にしてゲームができた。	○	○	○	8
	J ラグビー (男) 基本的な個人技能及び連係プレーを 習得し、また基本的なルールを理解 しゲームができる。	・キャッチボール ・ランニングパス (ノックオン、スローフォワードの理解) ・パンとキック、ドリブル ・タッチラグビー (ゲーム)	【知識・技能】 安定したボール操作や状況判断、空間を作る、使うなどの動きをゲームなどで行うことができる。 【思考・判断・表現】 チームでの作戦を、話し合い、考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に留意し、フェアプレーを大切にしてゲームができた。	○	○	○	8
	K サッカー (女) 基本的な個人技能と連係プレーや ルールを身に付けゲームができる。	・ボールキャリアー ・パス・トラップ ・ドリブル ・シュート ・1対1, 2対1, 3対2, 3対3… ・簡易ゲーム	【知識・技能】 安定したボール操作や状況判断、空間を作る、使うなどの動きをゲームなどで行うことができる。 【思考・判断・表現】 チームでの作戦を、話し合い、考えを仲間に伝えることで皆が納得することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に留意し、フェアプレーを大切にしてゲームができた。	○	○	○	8
	L 柔道 習得した受け身を使って安全に投げ 技練習ができる。 様々な足技、腰技、手技を身に付け る。	・受け身各種 ・大内刈、大外刈 ・大腰、釣込腰、払い腰 内股 ・体落とし、背負投げ、一本背負 ・各技の打ち込み練習	【知識・技能】 武道を学ぶことの意義、柔道の礼法や技の名称とそれらを身に付けるポイントを理解することができた。 【思考・判断・表現】 練習などから練習の成果や改善すべきポイントとその理由を伝え、課題解決に有効な練習を選択、実施できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の課題に応じた練習方法を選択するなど、柔道の学習に主体的に取り組む伝統的な行動の仕方を大切にしようとする積極的に取り組むことができた。	○	○	○	
	M 剣道 基本動作に習熟し安全に練習ができ る。 繰り返し技や連続技ができる。	・素振り ・打ち込み (面・胴・籠手) ・切り返し技 (籠手・面、面・胴、同・籠手) ・連続技	【知識・技能】 武道を学ぶことの意義、柔道の礼法や技の名称とそれらを身に付けるポイントを理解することができた。 【思考・判断・表現】 練習などから練習の成果や改善すべきポイントとその理由を伝え、課題解決に有効な練習を選択、実施できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の課題に応じた練習方法を選択するなど、柔道の学習に主体的に取り組む伝統的な行動の仕方を大切にしようとする積極的に取り組むことができた。	○	○	○	8
	N ダンス 基本の動作パターンの組み合わせや 応用動作に習熟し、情景表現や感 情表現ができる。グループでテーマ を設定しダンスの創作を行う。	・基本動作の組み合わせ ・感情表現 ・情景描写 ・グループ編成 ・創作の打合せ	【知識・技能】 リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ることができた。 【思考・判断・表現】 学習した知識や技能を表現や作品創作に適用したり、応用したりすることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に取り組む、役割を積極的に引き受け、グループ活動に貢献することができた。	○	○	○	
O 水泳 クロール、平泳ぎのキック、スト ローク、コンビネーションを再確認 し、平泳ぎ→クロールのメドレーを 行う。	・クロールのコンビネーション ・平泳ぎのコンビネーション ・ターンの方法 ・平泳ぎ→クロールの個人メドレー を行う。	【知識・技能】 各種泳法を理解し、手足バランスを保ち長く又は早く泳ぐことができた。 【思考・判断・表現】 選択した泳法に際して、動きを分析し、良い点や修正点を指摘できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に配慮し自他の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることができた。	○	○	○	6	
3 学 期	P 持久走 自己の心肺能力を知り、長い時間、 長い距離を自分に適したペースで走 り続けられる。	・正しいランニングフォームの習得 ・適切な腕振りと呼吸法 ・1500m/2000mのペース走 ・1500m/2000mの計測 ・シャトルラン	【知識・技能】 姿勢と接地について理解できる。腕振りと呼吸について理解できる。 【思考・判断・表現】 適切なペース配分を知り、自己の持久力を評価できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 毎時間の記録目標の設定。パートナーとの相互評価を実施する。単元終了後の振り返り。	○	○	○	6
	Q 柔道 習得した受け身を使って安全に投げ 技練習ができる。 様々な固め技を身に付ける。	・受け身各種 ・抑え技 (袈裟固め、横四方固め。 上四方固め、肩固め) ・連続技 ・自由練習 ・試合	【知識・技能】 武道を学ぶことの意義、柔道の礼法や技の名称とそれらを身に付けるポイントを理解することができた。 【思考・判断・表現】 練習などから練習の成果や改善すべきポイントとその理由を伝え、課題解決に有効な練習を選択、実施できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の課題に応じた練習方法を選択するなど、柔道の学習に主体的に取り組む伝統的な行動の仕方を大切にしようとする積極的に取り組むことができた。	○	○	○	
	R 剣道 基本動作・応用動作に習熟し、打ち 合いや試合が安全にできる。	・打ち込み (面・胴・籠手) ・切り返し技 (籠手・面、面・胴、同・籠手) ・連続技 ・試合	【知識・技能】 武道を学ぶことの意義、柔道の礼法や技の名称とそれらを身に付けるポイントを理解することができた。 【思考・判断・表現】 練習などから練習の成果や改善すべきポイントとその理由を伝え、課題解決に有効な練習を選択、実施できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の課題に応じた練習方法を選択するなど、柔道の学習に主体的に取り組む伝統的な行動の仕方を大切にしようとする積極的に取り組むことができた。	○	○	○	7
	S ダンス 創作ダンスの発表会	・音楽に合わせたパート練習 ・全体の通し練習 ・発表会 ・相互評価	【知識・技能】 リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ることができた。 【思考・判断・表現】 学習した知識や技能を表現や作品創作に適用したり、応用したりすることができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に取り組む、役割を積極的に引き受け、グループ活動に貢献することができた。	○	○	○	
	T サッカー/バスケットボール (球技大会種目の練習)	・ルール/競技方法の確認 ・基本的技能の復習 ・対人技能/集団技能の復習 ・ゲーム	【知識・技能】 安定したボール操作や状況判断、空間を作る、使うなどの動きをゲームなどで行うことができる。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度などを配慮して仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫する事ができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 自他の違いに応じた課題や挑戦を認め、仲間への助言することで信頼関係を深め、互いに高めあうことができた。	○	○	○	5
合計							105

	H Lesson 8 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や、言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。	【題材内容】 イギリス人ALTによるフィッシュ・アンド・チップスの歴史と食料資源に関する発表 【言語材料】 現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形 【言語の働き】 質問する、説明する、報告する、発表する							ワークシートの取り組み状況 授業中の活動における取組状況 小テスト 課題の取り組み状況										11	
	定期考査																			1
	I Lesson 9 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や、言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。	【題材内容】 世界中の若者の中で人気が出てきているeスポーツの実況中継 【言語材料】 S+V [知覚] +0+ [現在分詞, 原形不定詞], S+V [使役] +0+C [原形不定詞], S+V+0; +0; [if などの節] 【言語の働き】 質問する、理由を述べる、意見を言う、説得する、発表する							ワークシートの取り組み状況 授業中の活動における取組状況 小テスト 課題の取り組み状況											10
3 学 期	J Lesson 10 【知識及び技能】 側注・脚注の語彙や言語材料を理解し、その理解を基に、主題について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握し、学習した語句や文法事項を用いて自分の意見を話したり／書いたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。	【題材内容】 写真家ヨシダナギさんに関する雑誌記事 【言語材料】 wish+仮定法過去の節、仮定法過去のas if節、仮定法過去のif節 【言語の働き】 説明する、仮定する、意見を言う、発表する、報告する							ワークシートの取り組み状況 授業中の活動における取組状況 小テスト 課題の取り組み状況											10
	定期考査																			1
																			合計	
																			105	

2 学 期	E 単元Lesson 5, 6 【知識及び技能】 取扱う文法項目について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	してもよいこと・してはいけないことを伝える。あるできごとについて推測する。 Can, must, shouldを使い、～できる、～しなければならない・すべきと伝える。～かもしれない、～にちがいない、～したかもしれないと伝える。							ワークシート 発表	○	○	○	6
	F 単元Lesson 7 【知識及び技能】 取扱う文法項目について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	さまざまなものを紹介する。 受動態を使って、～されると伝える。～されたことについて尋ねる。 ～で…されると伝える。							ワークシート 小テスト 発表	○	○	○	6
	定期考査									○	○		1
	G 単元Lesson 8, 9 【知識及び技能】 取扱う文法項目について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	これからしたいことについて話す。 足りない情報を補う・説明を付け加える。 不定詞を使って、～することは…だ、～したいと伝える。～すべき・～するためにと説明を付け加える。							ワークシート 小テスト 発表	○	○	○	6
	H 単元Lesson 10 【知識及び技能】 取扱う文法項目について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	あるもの。人によって可能になることについて話す。 不定詞を使って、人に～してほしい・させてあげる・してもらおうと伝える。～が…するのを見たと言え							ワークシート 小テスト			○	6
定期考査										○	○	1	
3 学 期	I 単元Lesson 11, 12 【知識及び技能】 取扱う文法項目について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	するのが好きなこと・きらいなことについて話す。変わった生き物などについて説明する。 ～することは…と伝える。～が…することと伝える。～している名詞、～された名詞と伝える。							ワークシート 小テスト 発表	○	○	○	9
	J 単元Lesson 13 【知識及び技能】 取扱う文法項目について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の経験や考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の経験や考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	トラブルの相談をする。 ～を…してもらおう、～が…しているのを見る・聞くと伝える。～するとき・しながらと文に情報を加える。							ワークシート 小テスト 発表	○	○	○	9
	定期考査										○	○	1 合計 70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

情報 科目 情報 I

教科： 情報

科目： 情報 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1, 2, 3, 4, 6 組：伊藤) (5 組：並木) (7 組：呉屋)

使用教科書： (「情報 I」 日本文教出版)

教科 情報

の目標：

【知識及び技能】情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と情報を適切に扱うための基本的な論理や方法を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】必要な情報を主体的に収集・判断・処理を行い、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】社会生活の中で情報が果たしている役割や影響を理解し、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を養う。

科目 情報 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報を活用した問題の発見・解決等の方法や、社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的に理解し、情報を適切に活用するために必要な技能を身に付けている。	様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな資質・能力の三つの柱に沿った情報活用能力の整理意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けている。	情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	A 情報社会の問題解決 【知識及び技能】 情報やメディアの特性、情報技術が社会に果たす役割や影響、問題解決の手法等を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 情報と情報技術を適切に活用し、効果的に問題を解決し、表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 情報モラルに配慮し、情報社会に主体的に参画しようとする態度を身につける。	・教科書「情報 I」(日本文教出版) ・一人1台端末の活用 ・指導事項	【知識及び技能】 情報やメディアの特性を理解し、情報技術を効果的に活用して問題の発見・解決を行える。情報に関する制度及びマナー等について、その背景を化学的にとらえ、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決に必要な情報やメディアを見極め、メディアリテラシーを身につけ、情報の分析、評価、効果的な表現が行える。 【学びに向かう力、人間性等】 情報に関する法規や制度及びマナーの意義を理解し、情報社会において個人の果たす役割や責任について考察できる。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>B コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>【知識及び技能】 情報の科学的な見方・考え方を働かせ、メディアの特性やコミュニケーション手段の特徴について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて受け手にわかりやすく伝える。そのために情報デザインの考えかたや方法を身につける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用して、効果的なコミュニケーションを行う態度を身につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「情報Ⅰ」（日本文教出版） 一人1台端末の活用 指導事項 	<p>【知識及び技能】 メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解できている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や手法を理解し表現する技能を身につけている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報デザインの違いによる社会に与える影響の違いを理解し、責任ある情報発信を行う態度が身につけている。</p>	○	○	○	12	
	単元テスト			○	○		1	
	<p>C コンピュータとプログラミング</p> <p>【知識及び技能】 コンピュータの仕組みとコンピュータでの情報の内部表現、計算の方法について理解する。プログラムによって情報通信ネットワークの機能を使う方法や技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムによる表現方法を身につける。モデル化とシミュレーションの考え方を問題の適切な解決方法を考える際に行えるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活の中で使われているプログラムに目を向け、改善しようとするなど、情報社会に主体的に参画しようとする態度を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「情報Ⅰ」（日本文教出版） 一人1台端末の活用 指導事項 	<p>【知識及び技能】 コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータで情報の内部表現と計算に関する限界について理解できている。アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察すること。目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会や自然などにおける事象をモデル化・シミュレーションを行い、情報社会に主体的に参画しようとする態度を身につける。</p>	○	○	○	12	
定期考査			○	○		1		
3 学 期	<p>D 情報通信ネットワークとデータの活用</p> <p>【知識及び技能】 情報通信ネットワークや情報システムの仕組みについて理解する。データの蓄積・管理・提供・収集・整理・分析する方法を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを安全かつ効果的に活用する力を身につける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、データを多面的に精査しようとする態度、情報社会に主体的に参画しようとする態度を身につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「情報Ⅰ」（日本文教出版） 一人1台端末の活用 指導事項 	<p>【知識及び技能】 情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解すること。データを蓄積・管理・提供方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に沿ったネットワークの構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えることができる。情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えること。データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会で使われる情報技術に目を向け、さらなる効果的な活用法について考え、情報社会に積極的に参画しようとする態度が身につく。</p>	○	○	○	19	
	定期考査			○	○		1	
							合計	70

